

「中学生議会」の開催～地域を見つめた貴重な質問

2月6日（木）午後、厚中3年生議員による「中学生議会」が、代表議員以外の3年生や教職員、そして町議会議員や教育委員の方々等が見守る中、開催されました。

中学生の出席議員は、議長と代表議員の皆さん9名です。代表議員からは、日頃考えている、町づくりにかかわる意見や要望等、身近な地域課題を捉えた質問がありました。

そして、その質問に対して各担当課長や主幹から、本番さながらの丁寧な答弁がおこなわれました。

本物の議会のような、厳粛で緊張した雰囲気の中での今回の「中学生議会」は、街づくりへの意識喚起と町政への関心を高める絶好の機会となっていたようです。



「ドローン」でプログラミング学習の実践

鶉小学校の6年生を対象に、「ドローン」を活用したプログラミング学習の授業が同校の体育館でおこなわれました。

2つのチームに分かれて、少し離れたコーンをまわり、元の地点に戻ってくる速さを競ったり、サークル上まで進んだら、そのサークルの中に、正確に着陸させたりするなど、子どもたちは、飛行コースの長さを測り、飛行のプログラムをつくって、「ドローン」を上手に操っていました。

なお、この授業は「教育課程内で、各教科等とは別に実施するもの（C分類）」としておこなわれています。



教職員のための研修講座～働き方改革の推進にICTの活用を

2月7日（金）厚中体育館において、今年度の南部三町教育研究会がおこなわれました。会場には、厚沢部町のほか、江差町、上ノ国町の教職員が集まり、NPO 法人ほっかいどう学推進フォーラム理事長 新保元康氏による「情報化の大波を働き方改革と学校の日常改善に生かす」という演題の講演を、熱心に聴いていました。

多忙な学校現場の課題とその解決のための方策について、今後の指針をうかがう研修講座となりました。

